

IT Seminar Beijing

Schedule: 2006.01.18~01.21

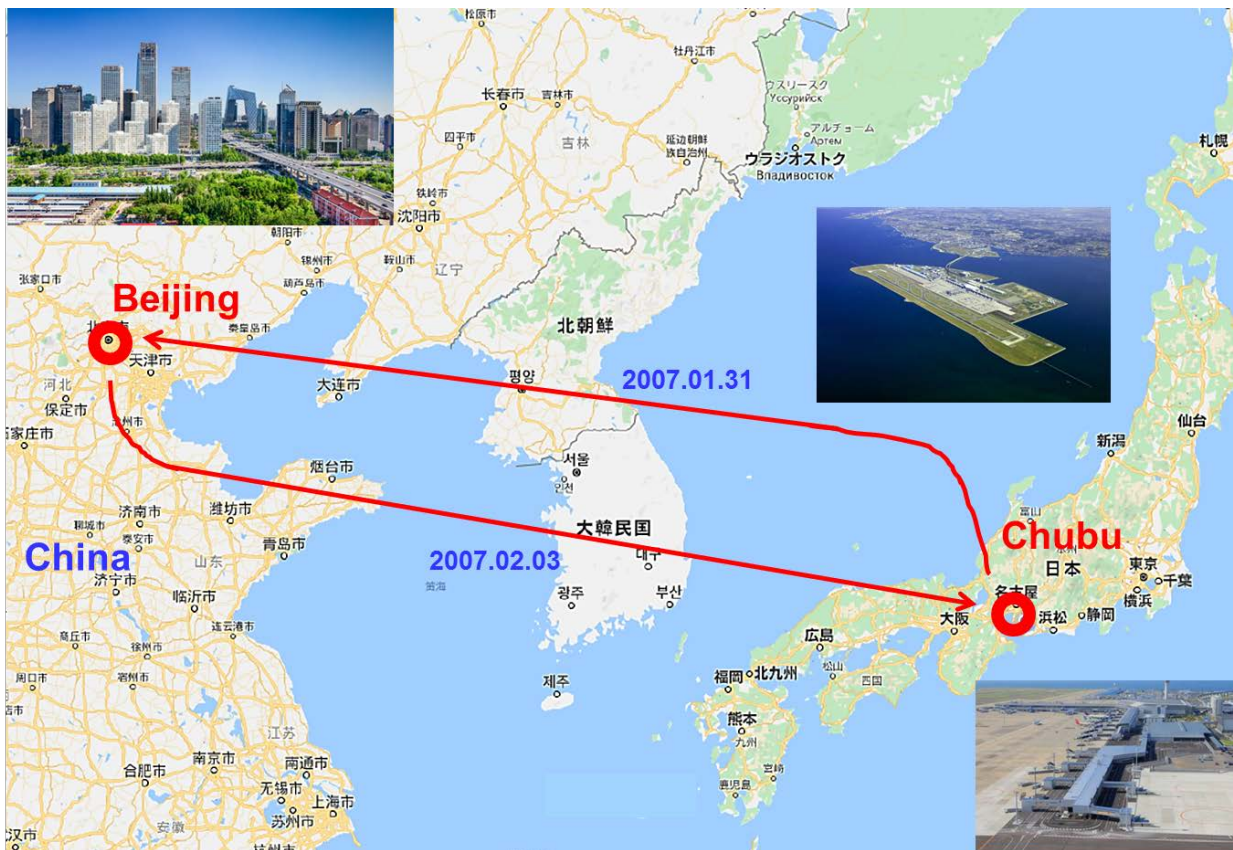
2007.01.31 Chubu ⇒Beijing

2007.02.01 09:00-17:00 Preparation of Seminar

2007.02.02 09:00-20:30 IT Seminar

2007.02.03 Beijing ⇒Chubu

2007年2月2日に、国際情報化協力センター（CICC：Center of the International Cooperation for Computerization）主催の第二回日中IT標準化技術交流セミナーが開催された。会場は第一回と同様に、北京新世紀日航飯店である。RFID分科会の議長として参加した。





**Hotel Nikko
New Century
Beijing**
北京新世紀日航飯店



hotel nikko
new century beijing
北京新世纪日航饭店

北京市海淀区首都体育馆南路6号
No. 6 Southern Road Capital Gym, Haidian District, Beijing China
电话Tel: 86-10-6849 2001

请送我到 Please take me to: _____



- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 长 城 | GREAT WALL |
| 2. 故 宫 | FORBIDDEN CITY |
| 3. 颐 和 园 | SUMMER PALACE |
| 4. 王 府 井 | WANG FU JING STREET |
| 5. 天 坛 | TEMPLE OF HEAVEN |
| 6. 天安门广场 | TIAN AN MEN SQUARE |
| 7. 首都机场 | CAPITAL AIRPORT |
| 8. 秀水市场 | SILK MARKET |
| 9. 红桥市场 | HONGQIAO(PEARL)MARKET |
| 10. 北京展览馆 | BEIJING EXHIBITION HALL |
| 11. 国际展览中心 | C.I.E.C. |
| 12. 国贸中心 | CHINA WORLD TRADE CENTER |
| 13. 二里屯 | SAN LI TUN STREET |
| 14. 琉璃厂 | LIU LI CHANG CULTURE MARKET |



第二回 日中IT標準化技術交流セミナー

主催： 財団法人 国際情報化協力センター (CICC)
財団法人 日本規格協会 (JSA)
日程： 2007年2月2日 (金)
会場： 中国 北京新世紀日航ホテル

<プログラム>

總會会場：江蘇庁/分科会場：江蘇庁 (LINUX)、四川庁 (RFID)

- 8:30 受付開始
9:00 開会
主催者挨拶
CICC 兼谷 明男 専務理事
- 9:20 基調講演 第一部
中国情報産業部 (MII) 電子情報製品管理司
副司長 陳 英 氏
中国電子技術標準化研究所 (CESI) 情報センター
副主任 楊 建軍 氏
- 10:10 休憩
- 10:30 基調講演 第二部
経済産業省 産業技術環境局 情報電気標準化推進室
室長 和泉 章 氏
日本情報処理学会
規格理事 平野 芳行 氏
- 11:20 会議趣旨の説明
CICC 佐藤 敬幸 氏
- 11:30 分科会討議 (イントロ)
<RFID> 四川庁
CESI 王 立建 氏
デンソーウェーブ 柴田 彰 氏
<LINUX> 江蘇庁
CESI 高 林 氏
日本IBM 木戸 彰夫 氏
- 12:30 昼食 山東庁
- 13:30 分科会討議
- 16:40 ブレイク
- 17:00 分科会まとめ発表会
- 18:00 閉会
- 18:30 懇談会 上海庁
- 20:30 終了



第二届 中日IT标准化技术交流研讨会

主办： 财团法人 国际信息化合作中心 (CICC)
财团法人 日本标准协会 (JSA)
日程： 2007年2月2日 (周五)
地点： 中国 北京新世纪日航饭店

<会议日程>

大会地点：江蘇厅 / 分组会地点：江蘇厅 (LINUX)、四川厅 (RFID)

- | | | |
|-------|----------------------------|---------------|
| 8:30 | 会议接待 | |
| 9:00 | 会议开始 | |
| | 主办方致词 | |
| | | CICC 兼谷专务 理事 |
| 9:20 | 主题报告 | |
| | 中国信息产业部电子信息产品管理司副司长 | |
| | 陈 英 先生 | |
| | 中国电子技术标准化研究所信息中心副主任 | |
| | 杨 建军 先生 | |
| 10:10 | 茶休 | |
| 10:30 | 主题报告 | |
| | 日本经济产业省产业技术环境局信息电气标准化推进室室长 | |
| | 和泉 章 先生 | |
| | 日本信息处理学会标准理事 | |
| | 平野 芳行 先生 | |
| 11:20 | 会议主旨的说明 | |
| | | CICC 佐藤 敬幸 先生 |
| 11:30 | 分组会讨论介绍 | |
| | <RFID> 四川厅 | |
| | CESI | 王 立建 先生 |
| | DENSO | 柴田 彰 先生 |
| | <LINUX> 江蘇厅 | |
| | CESI | 高 林 先生 |
| | 日本IBM | 木户 彰夫 先生 |
| 12:30 | 午餐 | 山東厅 |
| 13:30 | 分组讨论 | |
| 16:40 | 茶休 | |
| 17:00 | 分组会总结发表 | |
| 18:00 | 闭幕 | |
| 18:30 | 恳谈会 | 上海厅 |
| 20:30 | 结束 | |



第二回 日中 IT 標準化技術交流セミナー

日本側出席者名簿

(敬称略・順不同)

		名前	所属	役職
1	主催	兼谷 明男	財団法人 国際情報化協力センター (CICC)	専務理事
2	日本側 基調講演	和泉 章	経済産業省 産業技術環境局 情報電気標準化推進室	室長
3	日本側 基調講演	平野 芳行	情報処理学会 情報規格調査会 (ITSCJ)	規格理事
4	RFID 分科会座長	柴田 彰	(株)デンソーウェーブ 自動認証事業部	主幹
5	RFID	寺浦 信之	(株)デンソーウェーブ 自動認証事業部事業開発室	主幹
6	RFID	桑名 利幸	(株)日立製作所 トレーサビリティ・RFID 事業部 プロダクト本部	主管技師
7	LINUX 分科会座長	木戸 彰夫	日本アイ・ビー・エム(株)ストラテジー&グローバ ル・イノベーションセンター	シニア テクニカルスタッフ
8	LINUX	三浦 広志	(株)NTT データ オープンソース開発センター	企画担当 シニアエキスパート

中国側出席者名簿

(敬称略・順不同)

		名前	所属	役職
1	中国側 基調講演	陳 英	中国情報産業部(MII) 電子情報製品管理司	副局長
2	中国側 基調講演	楊 建軍	中国電子技術標準化研究所 情報センター	副センター長
3	RFID 分科会座長	王立建	中国電子技術標準化研究所	電子タグ及びリーダーグ ループ (総括グループ) グループ 長
4	RFID	朱継平	上海科織通信信息科技有限公司	総括グループ 副グループ長
5	RFID	何玉舟	中国国際電子商務中心	総括グループ 副グループ長
6	RFID	謝建平	上海通用化工技術研究所	総括グループ 副グループ長
7	RFID	张革军	北京維深電子技術有限公司	電子タグ及びリーダーグ ループ 副グループ長
8	RFID	龚 锐	中電スマートカード有限責任公司	電子タグ及びリーダーグ ループ 副グループ長
9	RFID	宋起柱	国家ワイヤレス監視センター	周波数及び通信グループ 副グループ長
10	RFID	李余菲	大唐高鴻データネットワーク技術株式有限公司	周波数及び通信グループ 副グループ長

11	RFID	沈 磊	上海复旦マイクロエレクトロニクス株式会社	周波数及び通信グループ 副グループ長
12	RFID	李西平	鑫科運通信情報技術有限公司	データフォーマット 副グループ長
13	RFID	吳行軍	北京清華同方マイクロエレクトロニクス有限公司	データフォーマット 副グループ長
14	RFID	黃振海	西安西電捷通無線ネットワーク通信有限公司	情報セキュリティ グループ長
15	RFID	黃小朋	普天情報技術研究院	情報セキュリティ 副グループ長
16	RFID	魏 凤	交通部公路研究院	応用組 グループ長
17	RFID	王家振	上海華申スマートカード応用システム有限公司	応用組 副グループ長
18	RFID	罗洪元	情報産業部 IC カード品質監督検査センター	応用組 副グループ長
19	RFID	邱善勤	情報産業部ソフトウェア及び集積回路促進センター	知的財産権グループ グループ長
20	RFID	刘 芳	隆徳成銘国際知的財産権研究(北京)センター	知的財産権グループ 副グループ長
21	LINUX	高 林	中国電子技術標準化研究所	副主任
22	LINUX	苗宗利	中国電子技術標準化研究所	エンジニア
23	LINUX	謝謙	中国電子技術標準化研究所	エンジニア
24	LINUX	张东	中標ソフトウェア	研究開発マネージャー
25	LINUX	刘明宝	新華科技	社長
26	LINUX	曹冬	共創开源	社長
27	LINUX	楊少鵬	共創开源	標準化エンジニア
28	LINUX	苏哲	Novell	研究開発エンジニア
29	LINUX	邵宇	Redhat	技術担当
30	LINUX	黃鵬	Redhat	ソフトウェアエンジニア

CICC 事務局

	佐藤 敬幸	(財)国際情報化協力センター(CICC)	事務局代表
	伊藤 実夏	(財)国際情報化協力センター(CICC)	
	今野 真希	(財)国際情報化協力センター(CICC)	
	小暮 崇正	(財)国際情報化協力センター(CICC)・北京事務所	所長
	曲 平琳	(財)国際情報化協力センター(CICC)・北京事務所	
	楊 淨	(財)国際情報化協力センター(CICC)・北京事務所	

第二回日中標準化技術交流セミナー RFID 分科会

第二回日中標準化技術交流セミナー RFID 分科会 報告書

1. 開催場所：新世紀日航ホテル（北京）
2. 開催日時：2007年2月2日11：30～16：30
3. 出席者

日本側委員：柴田 彰（デンソーウェーブ）
桑名 利幸（日立製作所）
平野 芳行（日本工業調査会）
寺浦 信之（日本自動認識システム協会）

中国側委員：王 立建（中国標準化研究所）
冯 敬（中国標準化研究所）
王 文峰（中国標準化研究所）
金 倩（中国標準化研究所）
耿 力（中国標準化研究所）
朱 继平（上海科識通信信息科技）
杨 湖（東信和平智能カード）
唐 輝（交通物流工程研究中心）
龚 铠（中電智能カード）
劉 並東

4. 内容

(1) プレミーティング

(1) - 1 開会宣言

柴田議長より開会宣言があり、多忙な中で、多くの中国側委員が分科会に出席いただいた事に対して謝意が表された。

(1) - 2 ご挨拶

次に、柴田議長より王主任が指名されて、中国側を代表してご挨拶がなされた。

趣旨は、以下のとおり。

- ・ SC2,SC29 では、日中で多くの協力が既に行われてきている。SC17,SC31 の分野でも協力体制が築かれつつある。しかし、日中の協力はあまり進んでいないように思える。
- ・ 情報技術分野に関しては各国に独自性の権限を与えるべきであると考え。例えばインターネット等の米国主導の管理手法は他の諸国でも満足していないように思える。そこで、

第二回日中標準化技術交流セミナー RFID 分科会

Eu主導で進めているガリレオ戦略のように米国一極打破を測るべきではないか。その意味で、日本のUcode戦略は興味を持っている。

- ・ RFIDに関して日中で共同で提案できるとよいと考える。SC2では20年間に渡って円滑に共同作業を行うことができた実績があり、SC31でも同様な関係を築いていきたい。

これを受けて、柴田議長が次のように挨拶した。

- ・ RFIDの国際標準に2バイトキャラクターの盛り込みは必要。この点では日中は協力できる。
- ・ その国の国内で使用する規格には、その国の文字体系を入れることが必要。国際標準についても同様の考えを浸透させる必要がある。RFIDはいろいろな国で使用されるが、全体を最適化する体制が出来ていない。日中の共通の課題を見出し、協力し、解決していくことが、今後の両国の発展につながると考える。

(1) - 3 自己紹介

次に、出席者全員による自己紹介がなされた。

(1) - 4 アジェンダ確認

次に、予め日本側で用意したプレミーティング アジェンダについて、概略が説明され、それによって議事を進めることが承認された。

【添付資料1-1 プレミーティング アジェンダ案（日本語）】

【添付資料1-2 プレミーティング アジェンダ案（英語）】

【添付資料1-3 プレミーティング アジェンダ案（中国語）】


(1) - 5 前回会議のレビュー

次に、日本側出席者の寺浦氏から、昨年1月に実施された第一回日中標準化技術交流セミナーおよび昨年5月に実施された第4回知能セミナーの実施状況について、概略の説明が行われた。そしてその中で、昨年よりCESIとCICCはRFIDに関して、交流を進めてきており、意見交換、議論を積み重ねてきている。本日の午後の分科会では、それらの議論を踏まえた活発な議論としたい旨、表明された。

【添付資料2 昨年活動の振り返り】

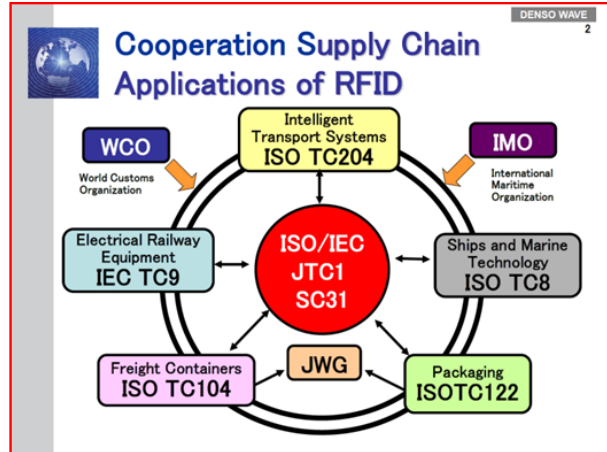
(1) - 6 分科会の進め方


次に、午後分科会の進め方について、予め日本側で用意していたアジェンダ案を元に議論を行った。そして、まず中国側から予め提示しておいたテーマについて30分、次に日本側から30分づつ発表を行い。その後、発表された内容を元に、次に選定する議題について議論を深めることとした。




Radio Frequency Identification (RFID) – ISO & ISO/IEC Standards

Akira Shibata
DENSO WAVE INCORPORATED



- DENSO WAVE
3
- 
- ## Types of Standards
- **Data Carrier Technology**
 - Symbology, RFID, I.C. Card
 - **Data Content & Data Structure**
 - Semantics (DIs or AIs or EPC), Syntax
 - **Conformance**
 - Print Quality, Test Specifications, Conformance to Air Interface
 - **Network**
 - Object-to-object communications
 - **Application Standards**
 - Freight container, RTI, Ship Label, Product Package, Product Mark/Tag, e-Seal



ISO/IEC JTC 1/SC 31 Automatic Identification and Data Capture Techniques